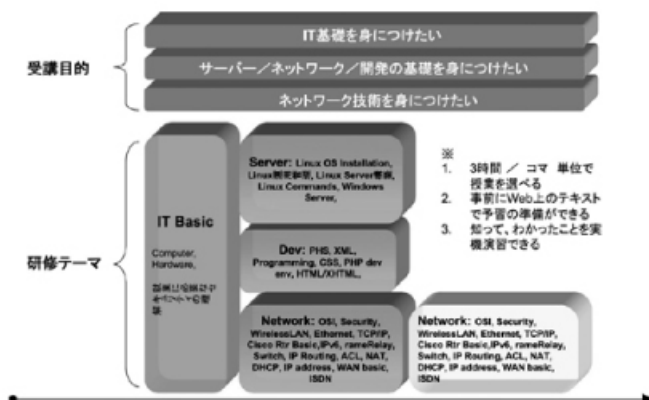


コース・ポートフォリオ

それぞれ技術者の希望にあわせたカリキュラムを選択できる



リスク管理を強化するためには、管理担当者の知識やスキルを高める、システムを外部のデーターセンターに移管する、システムの運用を専門の企業に委託することで限られた管理コストを有効活用することが出来る。

情報システム担当者の技術的な知識やスキルを上げるのは、殆ど個人の裁量に任されていることが多いが、日常業務をこなしながら自己研鑽をするケースは少なく、学習方法も書籍やインターネットに頼るだけで、実際に使いながら系統立てて学ぶことはなかなか難しい。

弊社が提供する教育プログラムはコン



実践あるのみ。LANコード作りからはじまる研修で基礎を学ぶ



サーバやハブ、スイッチなどの機器を多数使い、実際にネットワークを構築していく



女性も多く参加している。マンツーマンで個別指導を受けられる

ピュータの基礎からサーバー、ネットワーク、ECサイトの開設を想定した開発を基礎から学ぶことにより企業の情報システム全体に対する知識を深め、豊富な実機を使用して実環境に近い状態を作り上げ、企業内システムの構築、運用、障害に対する自己解決能力向上を目的としている。

Webを利用したeラーニングとラボによる課題解決学習により日常業務と両立しながら安価にスキルアップすることを可能にしている。もともと机上学習による資格取得だけでは現場対応力が全く不足するため、自社の技術者

のためにこの学習プログラムを開発したが、ITの基礎から応用まで個々の力量に合わせて短期間で即戦力になる人材を育成できるので企業内の情報システム担当者向けにも適している。

担当者のITリテラシーや技術力を上げることはモチベーションの向上に役立つばかりでなく、今までベンダー任せだった機器の選定やシステム構築を自社内のスタッフで行うことも可能にする。さらに計画的なIT設備投資を図ることで、より効率的かつ安全に社内のITインフラの運用を行い、対外的なセキュリティに対するリスクも軽減できるといえる。